

ほん この本よむぞう

気持ちのいい季節になりました。10月27日～11月9日は秋の読書週間です。図書館ではきっと、あなたの友だちになれる本が待っていますよ。探しに来てね。

みずまきまちとしょかん 水巻町図書館
こどもの本
今月のおすすめ
2022年10月号



「ネコの
ナペレオン・ファミリー」
木坂涼文 著
はたこうしろう 絵
【福音館書店】

国立つめとき研究所の所長、ナペレオン氏の家に、3びきの子ネコが生まれました。たいへんいたずらっ子たちの教育係になったナペレオン氏は、愛情いっぱいですが、毎日ヘトヘトです。



「海のこびとと
ひみつの島」
カリ・ガードナー 著
リア・コーリー 絵
中井はるの 訳
【ポプラ社】

こびとのキャンディは、海をただよう島に住んでいます。こびとたちは、人間が海にすてたペットボトルやプラスチックを利用してくらししてきました。楽しみにしていた海祭りの前に、島はつめたい海にまよいこんで…



「ワニのガルド」
おーなり由子 著・絵
【偕成社】

転校生のヒナちゃんの前にとつぜんあらわれたおばけのワニのガルド。ヒナちゃんを何かと手伝ってくれますが、実はガルドはさびしいひとしか見えないのです。ヒナちゃんにお友だちができるとガルドは…

「世界の魔よけ図鑑」
三国信一・土谷輪 監修
本作り空Sola編
【岩崎書店】



世界のいろいろな「魔よけ」が写真と絵でくわしくわかりやすく説明されています。日本の代表的なものには「アマビエ」「狛犬」「獅子舞」などがありますが、節分にまく「大豆」も魔よけなんですよ。ハロウィンのカボチャも魔よけの一つ。魔よけの不思議な力は私たちが安心させてくれますね。



「長い長い夜」
ルリ作 著・絵
カン・バンファ 訳
【小学館】

やっとなつつかんだ幸せを次々と人間に奪われたシロサイは、3人の父さんを持つペンギンと旅を続けながら、夜になると「生き抜くことの大切さ」を静かに教えます。心に残る命の物語。韓国の文学トンネ子ども文学賞大賞を受賞した作品です。



「科学って何のためにあるの？」
科学の基本的な5つの分野がわかる図鑑
D K社 編
左巻健男 監訳
上原昌子 訳
【東京書籍】

身の回りを見渡すと、科学がいっぱい！人間や生物の生活をよりよくするため、科学者たちはひたむきな努力を続けています。身近な科学の疑問にいてねいに答えてくれる1冊です。